住宅改修が必要な理由書　 (P1)

＜基本情報＞

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 利用者 | 被保険者番　　号 | ００００１２３４５６ | 年齢 | ○○歳 | 生年月日 | 明治･大正･昭和○年 ○月 ○日 | 性別 | 囗 男☑ 女 |  | 作成者 | 現地確認日 | 令和○年○月○日 | 作成日 | 令和○年○月○日 |
| 被保険者氏　　名 | 介護　花子 | 要介護認定(該当に○) | 要支援 | 要介護 | 所属事業所 | ○○介護支援事業所 |
| １ ・ ２ | １ ・ ２ ・ ３ ・ ４ ・ ５ | 資格 | ※１ |  |
| 住　　所 | 〒066-8686千歳市東雲町２丁目34番地 | 氏　名 | ○○　○○ |
| 連絡先 | 000-0000-0000 |

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　※１ 作成者が介護支援専門員でないとき

・福祉用具の利用状況とともに、改修後、利用が予想される福祉用具をレ点チェックする。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 保険者 | 確 認 日 | 令和　　 年 　月 　日 | 評価欄 |  |
| 氏　　名 |  |

＜総合的状況＞

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 利用者の身体状況 | ・立ち上がりやバランスの保持、移動といった生活動作に関する身体状況を記述する。・屋内の移動方法（捕まらないで歩ける、つたい歩き、杖や歩行器利用等）は必ず記述する。・さらに、屋外に関する回収をする場合は、屋外の移動方法も必ず記述する。 | 福祉用具の利用状況と住宅 |
| 改修後の想定 | 改修前 | 改修後 |
| ●車いす●特殊寝台●床ずれ防止用具●体位変換器●手すり●スロープ●歩行器●歩行補助つえ●認知症老人徘徊感知機器●移動用リフト●腰掛便座●特殊尿器●入浴補助用具●簡易浴槽 | 囗囗囗囗囗囗囗囗囗囗囗囗囗囗 | 囗囗囗囗囗囗囗囗囗囗囗囗囗囗 |
| 介　護　状　況 | ・各種介護サービスだけでなく、家族の介護も含めた介護状況を記述する。・見守り程度の状況であっても、その内容を記述する。 |
| 住宅改修により、利用者等は日常生活をどう変えたいか | ・「その他」欄には、住宅改修に関連した介護給付対象外の福祉用具を記入する。・利用者や家族が住宅改修によって現在の暮らしをどのように変えたいのか、あるいは継続していきたいのかを、専門職の判断も踏まえたうえで、客観的・総合的に記述する。・これまでの生活歴を踏まえ、利用者はどのような社会参加をしていきたいのかを記述する。・具体的な改修方針や改修項目は次頁に記述する。 |
| ●その他・　　　　　　　　　　　　 ・　　　　　　　　　　　　・　　　　　　　　　　　　・　　　　　　　　　　　　 | 囗囗囗 | 囗囗囗 |

住宅改修が必要な理由書　 (P2)

＜P1の｢総合的状況｣を踏まえて、①改善をしようとしている生活動作②具体的な困難な状況③改修目的と改修の方針④改修項目 を具体的に記入してください。＞

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 活動 | ① 改善をしようとしている生活動作 | ② ①の具体的な困難な状況(…なので…で困っている)を記入してください | ③ 改修目的･期待効果をチェックしたうえで、改修のコメント(…することで…が改善できる)を記入してください | 1. 改修項目(改修箇所)
 |
| 排泄 | ☑ トイレまでの移動・改善しようとしている具体的動作についてレ点チェックをする。・今回改修の対象ではない項目にはチェックの必要はない。・入浴・排泄・外出活動に関連しての、浴室・トイレ・玄関までの移動については各活動の欄にレ点チェックする。（ただし、この場合の移動についての、排泄・入浴・外出・その他各活動に共通する内容は、②において、各活動の欄に重複して記述する必要はない。）囗 トイレ出入口の出入(扉の開閉を含む)☑ 便器からの立ち座り(移乗を含む)囗 衣服の着脱囗 排泄時の姿勢保持囗 後始末囗 その他(　　　　　　　　　　　) |  | ☑ できなかったことをできるようにする・①②を記入し、現状の問題点を踏まえた上で、改修目的の項目のうち、あてはまるものすべてにレ点チェックする。☑ 転倒等の防止、安全の確保☑ 動作の容易性の確保囗 利用者の精神的負担や不安の軽減☑ 介護者の負担の軽減囗 その他(　　　　　　　　　　　) | ●各活動の困難事項を改善するために、どのような改修を行うのか、その方針を記述する。・改善方法は「～を作る」「～のよう工夫する」「～を確保する」などの表現でもよい。・段差解消の場合は、「敷居撤去」「かさあげ」「敷台設置」などのように具体的に記述する。・一つの改修項目が複数の目的のために行われる場合はまとめて記述してもよい。・具体的手段については利用者や家族はもちろん、住宅改修の専門家（リハビリテーション技術者や建築業者）と一緒に考えることが望ましい。 | ☑ 手すりの取付け　(　　　　　　　　　　　　　　　)　(　　　　　　　　　　　　　　　)　(　　　　　　　　　　　　　　　)　(　　　　　　　　　　　　　　　)　(　　　　　　　　　　　　　　　)・検討の結果決定された改修内容の項目をレ点チェックする。・「その他」の欄には必要に応じて付帯工事を記述する。・場所だけではなく、「手すり」であれば「便器横側面」等その取り付け位置や寸法等も具体的に記述するとなおよい。☑ 段差の解消　(　　　　　　　　　　　　　　　)　(　　　　　　　　　　　　　　　)　(　　　　　　　　　　　　　　　)囗 引き戸等への扉の取替え　(　　　　　　　　　　　　　　　)　(　　　　　　　　　　　　　　　)囗 便器の取替え　(　　　　　　　　　　　　　　　)　(　　　　　　　　　　　　　　　)囗 滑り防止等のための床材の変更　(　　　　　　　　　　　　　　　)　(　　　　　　　　　　　　　　　)囗 その他　(　　　　　　　　　　　　　　　)　(　　　　　　　　　　　　　　　)　(　　　　　　　　　　　　　　　) |
| 入浴 | ☑ 浴室までの移動囗 衣服の着脱囗 浴室出入口の出入(扉の開閉含む)☑ 浴室内での移動(立ち座りを含む)囗 洗い場での姿勢保持(洗体･洗髪含む)☑ 浴槽の出入(立ち座りを含む)囗 浴槽内での姿勢保持囗 その他(　　　　　　　　　　　) |  | ☑ できなかったことをできるようにする☑ 転倒等の防止、安全の確保囗 動作の容易性の確保囗 利用者の精神的負担や不安の軽減☑ 介護者の負担の軽減囗 その他(　　　　　　　　　　　) | ●生活動作で困っていること、問題点について、その状況や介護の現状を具体的に記述する。・本当は…したいのだが、実際には…しかできないので、…について困っているというように具体的に記述する。・「動作」のレベル（例えば、「立ち上がる」「歩く」「またぐ」など）で、それがどのように困難なのか具体的に記述する。・生活のどの場面、どの動作が利用者・介護者にとって大変なのか、動作の流れに沿って見極めること。寝たきりならば「座位が保てるか」、歩行ができれば「段差を超えられるか」などについても確認する。 |
| 外出 | 囗 出入口までの屋内移動囗 上がりがまちの昇降囗 車いす等、装具の着脱囗 履物の着脱囗 出入口の出入(扉の開閉を含む)囗 出入口から敷地外までの屋外移動囗 その他(　　　　　　　　　　　) |  | 囗 できなかったことをできるようにする囗 転倒等の防止、安全の確保囗 動作の容易性の確保囗 利用者の精神的負担や不安の軽減囗 介護者の負担の軽減囗 その他(　　　　　　　　　　　) |  |
| その他の活動 | 調理・「その他の活動」の欄には「排泄」「入浴」「外出」以外の活動の生活動作を記述する。（例えば「調理：台所での移動」や「洗濯：洗濯物の取り出し」など）　台所での移動、姿勢保持 |  | 囗 できなかったことをできるようにする☑ 転倒等の防止、安全の確保☑ 動作の容易性の確保囗 利用者の精神的負担や不安の軽減囗 介護者の負担の軽減囗 その他(　　　　　　　　　　　) |  |